

第8回経営委員会議事概要

1. 日 時：平成 30 年 3 月 30 日（金）10:15～11:00
2. 場 所：年金積立金管理運用独立行政法人 大会議室
3. 出席委員：・高橋理事長・平野委員長 ・新井委員長代理 ・岩村委員 ・加藤委員
・古賀委員 ・小宮山委員 ・中村委員 ・根本委員 ・堀江委員
4. 議事概要

【議決事項】

（1）「平成 30 年度計画（案）について」

平成 30 年度計画（案）について、議決を行い、10 名の全委員の賛成により承認された。

委 員 予算に関する最初の議決なので、意見、要望を 2 点申し上げたい。1 点目は、管理、運用の源泉は国民一人一人から集めた保険料であり、例えその運用が好調なときであっても、予算の執行及び策定に当たっては、そのことを十分に再認識する必要がある。

2 点目は、この予算の審議の中で、様々な角度から資料を用意いただいたが、特に新規の事業については、予算も含めてパッケージにしたものを前段から議論する場を持てればより理解が深まるのではないかと思う。

委 員 来年度の平成 31 年度計画の予算プロセスについて提案したい。新規案件及び重要案件等については、その案件が固まったところで、あらかじめ経営委員会で議論する場を設けてほしい。そうすれば、理解を深めた上でより実のある予算の審議ができるのではないかと思う。

もう一つは、単年度の予算を審議する際に、長期の計画の中でその予算案件がどのような位置づけになっているのかということを入念に入れながら議論するというのが、議論の実効性を上げるうえで有効ではないかと思う。いずれかの時点で、GPIF としての中期ビジョンをどう考えるかということも議論したい。

委 員 来年度予算については、極力めり張りをつけ、特に新規の案件については、できる限り前広に御意見をいただけるように準備したい。

また、中長期の GPIF のあり方や位置づけについても、ご議論いただけるように、執行部としても御意見をいただきながら材料なりを提供していきたい。次の中期計画の中でどのように位置づけられるかということは非常に重い課題だと思う。他の独立行政法人との横並びなどもあり、やや無味乾燥とした表現になるかもしれないが、その前段階において GPIF がどのようにあるべきかということをお場で御意見いただけるのは、この先の財産にもなり、予算を審議していただく際の

一番のバックボーンになると思う。次の中期計画に反映できるような形で御意見をいただければ大変ありがたいので、執行部としても前向きに受けとめて協力したい。

(2)「業務方法書の変更について」

業務方法書の変更について、社会保障審議会資金運用部会の議論を受け、軽微な修正があった場合は、修正内容の確認については委員長一任として議決を行い、10名の全委員の賛成により承認された。

【審議事項】

「基本ポートフォリオの定期検証について」

質疑等の概要は以下のとおりである。

委員 賃金上昇率については、国民総所得（GNI）成長率を使用して推計したとのことだが、これまでとは違った傾向は出たのか。

委員 賃金上昇率については、金利との関係に着目して推計するとともに、1人当たり GNI 成長率との関係にも着目して推計した。その際、1年ごとの変数を使うとともに、経済変数間のタイムラグを考慮し、3年累積データも使った。結果としては、大きな差異は出てこなかった。

【報告事項】

「マネジャー・エントリーの全資産への拡大について」

質疑等はなかった。

以上